

■地域性を創出する中央島の修景



↑ 環道全景 中央島には飯田市章をモチーフにした管理用通路を設けた

■ラウンドアバウトの視認性と見通しに配慮した構造



←視認性を確保しつつ、周囲の見通しに配慮した中央島

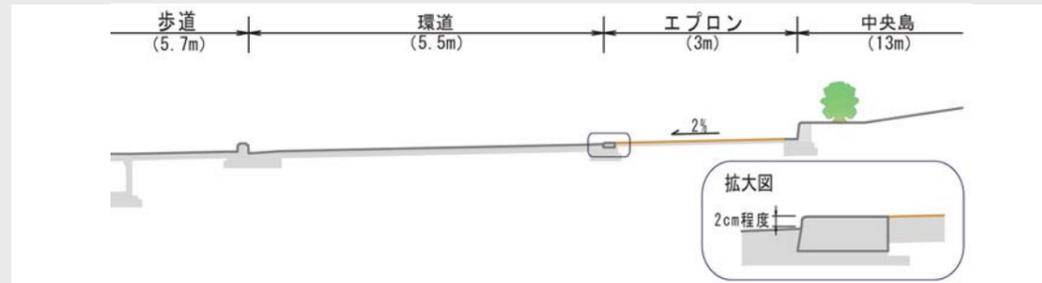


←路面標示と矢印板により環道内が時計回りの通行であることを明示



H24.8

■還道部の直線的な通過を抑制する構造 (エプロン)



↑ カラー舗装と段差を設けることで、視覚的・物理的に還道部の直線的な通過の抑制を促す。大型車が乗り入れ可能な高さとする事で、大型車の内輪差を補う。

■歩行者の視認性を高める照明配置



H24.8

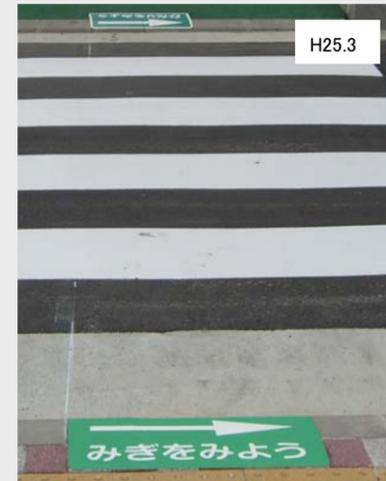


H25.3



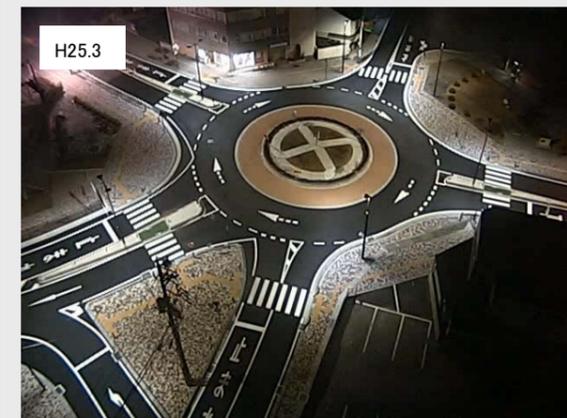
H25.3

← 交通島の設置により歩行者は2段階横断が可能。さらに流入入車の交錯を防ぐ役割もある。



H25.3

←歩行者の安全確認を促す路面標示



H25.3

←横断歩道部を重点的に照らす照明配置 (LED ランプ)